

首都大学東京とスクラム釜石との連携・協力協定締結について

首都大学東京（学長：上野 淳）と特定非営利活動法人スクラム釜石（代表：石山 次郎）は、このたび、「首都大学東京と特定非営利活動法人スクラム釜石との連携・協力に関する協定」を締結し、2018年9月19日（水）に締結式を開催いたしましたことをごお知らせいたします。

1 背景と趣旨

首都大学東京は、東京都が設置した公立大学として、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等も見据え、スポーツボランティアのリーダー育成に取り組んできました。2016年1月にはボランティアセンターを設立し、活動と事前・事後の学習を連動させた「スポーツボランティアプログラム」を実施し、スポーツボランティアの知識や技術を身につけた学生が、スポーツ大会等においてボランティアとして活躍しています。

東京2020大会に先がけて、2019年にはラグビーワールドカップが日本で開催されます。ラグビーワールドカップ2019日本大会は、東日本大震災で甚大な被害を受けたラグビーの街「岩手県釜石市」でも試合が行われます。そこで本学は、元新日鐵釜石ラグビー部OB等が中心となり設立されたNPO「スクラム釜石」と連携し、「釜石ラグビー応援プロジェクト」を発足させ、ラグビーを通じた復興支援に取り組めます。本学が蓄積するスポーツボランティアのノウハウを活かし、世界から注目される2019年を機会に、東京から被災地釜石・東北を応援するムーブメントをつくりたいと考えています。

2 協定の目的

この協定は、ラグビーを通して東日本大震災で甚大な被害を受けたラグビーの街「釜石」及び東北地域の復興を応援すること、社会のボランティアリーダーとなり得る人材を育成するため連携・協力を図ることを目的としています。

3 連携・協力の内容

上記の目的のために活動を行いますが、具体的な活動内容等については、それを企画するところから学生自身が主体的に行います。それらの活動に対して、以下の点などで相互に連携・協力いたします。

- ボランティアプログラムの開発
 - ボランティア活動に関する事前・事後学習、助言、技術指導
- 【今後の取組予定】11/3（土・祝）大学祭（みやこ祭）でのラグビー体験会

NPO法人スクラム釜石について

新日鐵釜石ラグビー部有志と在京関係者が、新日鐵釜石ラグビー部OBで元ラグビー日本代表の石山次郎氏を代表とし、2011年5月に設立。「東北復興はラグビーと共にあり！」をモットーに東日本大震災の復興支援活動を実施し、釜石市の2019年ラグビーワールドカップ開催を提唱しました。また復興支援イベント等を通じて在京ラグビーファン、関係者、地元関係者と招致・開催の気運を醸成してきました。

スクラム釜石ホームページ <http://scrumkamaishi.jp/>

協定締結式の様子



締結式を終えて



スクラム釜石の高橋事務局長と、贈呈された「釜石 8.19 記念大漁旗Tシャツ」を着用した上野学長

「釜石鵜住居復興スタジアムオープニング DAY」でのボランティア活動

協定締結に先がけて、本プロジェクトの一環として、8月19日（日）に開催された「釜石鵜住居復興スタジアムオープニング DAY」の運営ボランティアとして、本学から学生47名、職員5名の合計52名が参加しました。

2019年に同スタジアムで開催されるラグビーワールドカップにおいても、本学から学生55名、職員5名の合計60名がボランティアとしてエントリーしています。

～釜石鵜住居復興スタジアムの各所で活躍する学生ボランティア～



入場口でのチケットもぎり担当の様子



入場口での資料配布担当の様子



物販テントでの記念Tシャツ交換担当の様子



スタジアム外周でのエア遊具サポート担当の様子



入場口付近で記念TシャツをPRしている様子



活動終了後に全員で集合写真

本件に関するお問い合わせ先

首都大学東京ボランティアセンター事務室 市村 042-677-1354